



特定非営利活動法人ほっとポット

平成 29 年度特定非営利活動報告に係る
事業報告

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日



1 事業報告

【無料低額相談事業】

○年間相談総数 364 件/年

生活上の様々な困りごとへの福祉相談に社会福祉士等が応じる事業(社会福祉法 2-3-1 届出)。社会福祉士及び介護福祉士法(2-1)に定義されている業として、社会福祉制度等の助言、関係機関への調整支援等を実施している。なお、経済的に困窮している方の費用負担は無料としている。

※実績に地域生活サポートホーム、緊急一時シェルター事業は含まない



【緊急一時シェルター事業】

○施設数 2か所

○居室数 8居室

○依頼件数 67人/年

○入所者数 23人/年

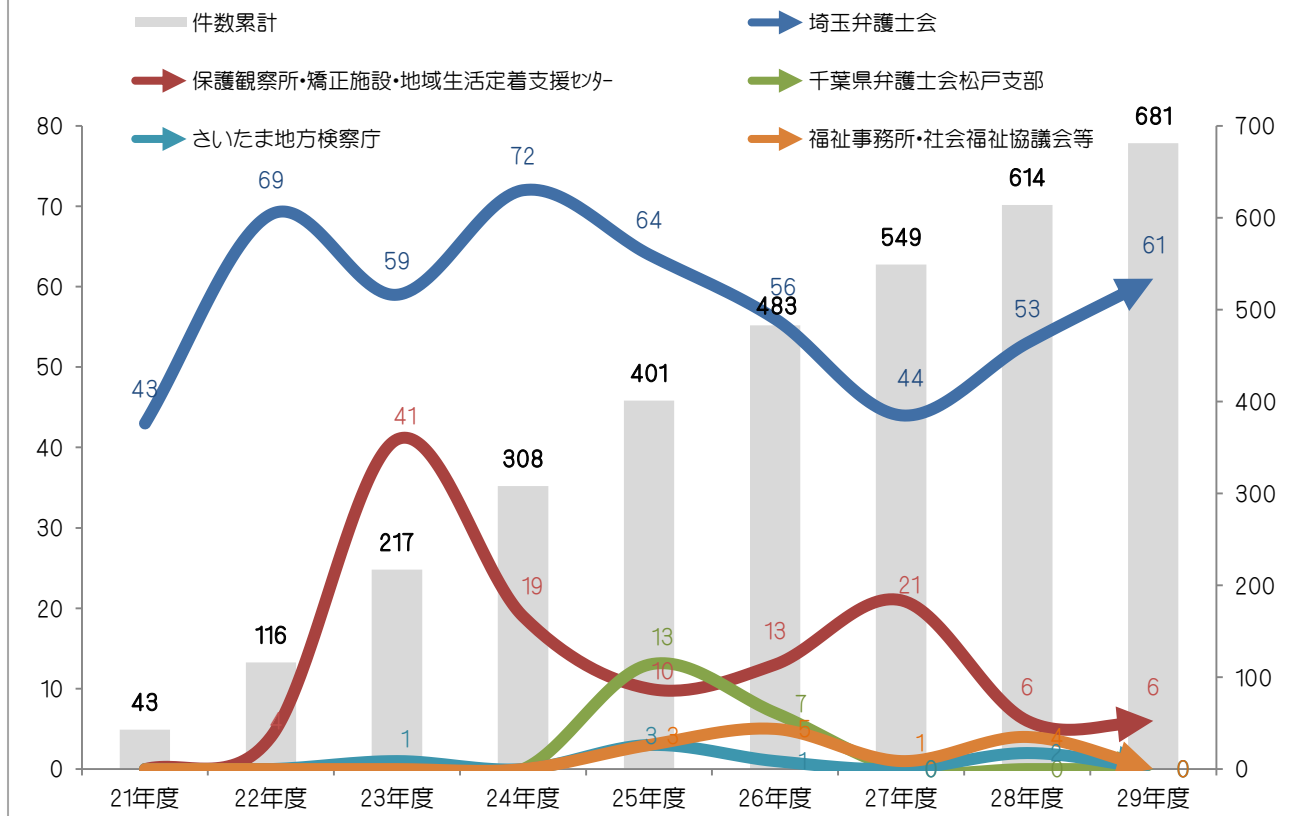
主に貧困を背景として罪を犯した住居喪失状態の方へ、被疑者・被告人段階から社会福祉士を身柄拘束場所へ派遣し、生活相談に応じ、福祉制度への調整支援を行った。また最大30日間の居室支援を行い、退所後の安定した居宅確保支援も行った。

埼玉弁護士会による社会復帰支援委託援助制度：指定施設を運営。併せて、法務省による緊急的住居確保・自立支援対策事業：自立準備ホームを運営。保護観察所・地域生活定着支援センター・矯正施設等からの支援依頼へも対応した。

平成21年度から始まった緊急一時シェルター事業は、平成29年度で支援依頼総数681人となった。本事業について、講演依頼や取材依頼などが寄せられている。

なお、平成24年度から当法人代表理事がさいたま岩槻地区において保護司を法務大臣より委嘱されている。

グラフ1 緊急一時シェルター機関別支援依頼件数(総数681名)

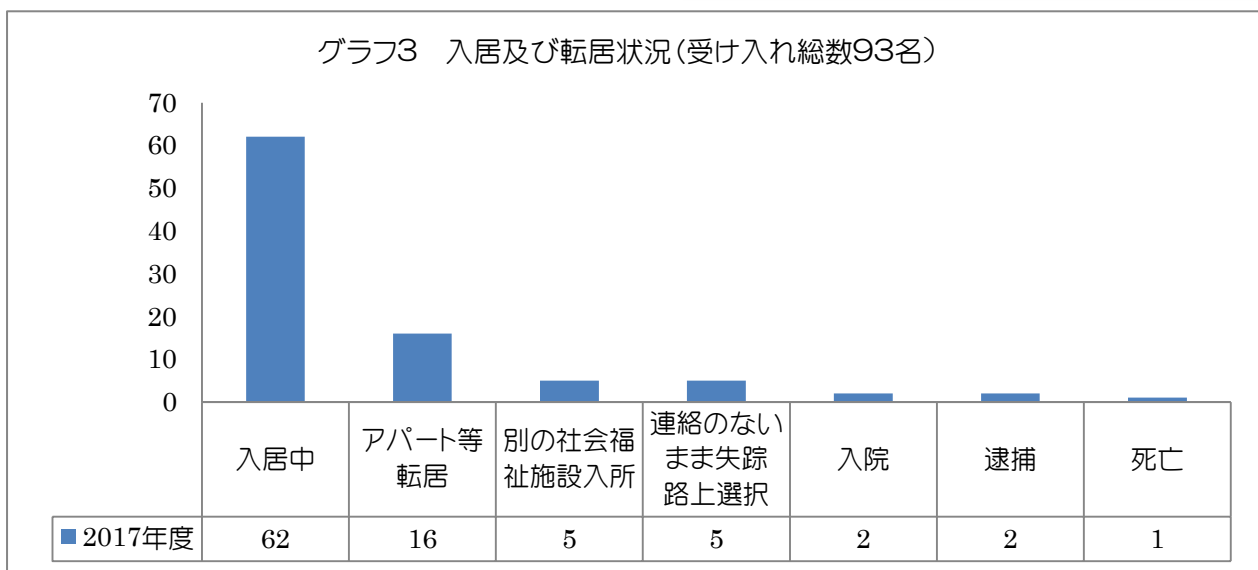
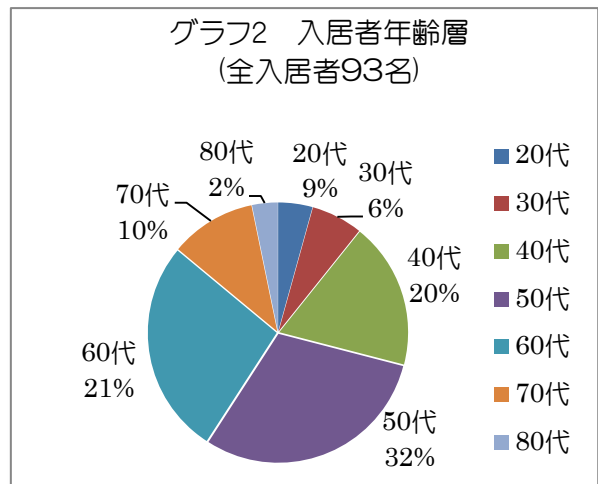


【地域生活サポートホーム事業】

- 施設数 16か所
- 居室数 69居室
- 岩槻区 7か所
- 岩槻区 33居室
- 見沼区 6か所
- 見沼区 22居室
- 緑区 3か所
- 緑区 14居室
- 利用者総数 93人/年
- 適切な住居・施設への転居数 21人/年

住居を喪失した方、またその恐れのある方を対象とし、社会福祉士等による福祉制度への適切なコーディネイトと、一時的な居住場所の提供を行い、生活の安定を図る事業。入居期間は最大1年（更新可）。1人1人に支援計画をたて、目標や希望に沿う支援を行い、関係機関と連携しながらアパート転居等の支援を積極的に行った。各施設毎に年1回の避難訓練を実施した。

厚生労働省の平成29年度社会福祉推進事業における「無料低額宿泊所を利用する被保護者や生活困窮者の支援充実のための利用者の実態把握」の調査にNPO法人ほっとポットとして協力。



【障害福祉サービス事業】

- 施設数 5か所
- 居室数 14居室
- 年間利用者数 11人/年

障害者総合支援法に基づく共同生活援助を行う事業。さいたま市内にグループホームを運営。入居者の相談や日常生活上の援助を行う。

平成29年12月になぎさ荘（4居室）を開設し、定員が14名となった。

障害種別は、療育手帳保持者9名・精神障害者保健福祉手帳保持者2名・身体障害者手帳保持者1名（重複あり）。年齢は30代～50代の男性が入所している。

今年度末時点での日中活動先は、他法人の就労移行支援事業所、就労継続B型事業所等である。尚、2名は一般就労をしている。



年間行事として、BBSの行事への参加（芋ほり）、地域のお祭り参加（やまぶき祭り・岩槻祭り・ぽとふ祭り・どうかん祭り）、浦和美園イオン等への買い物レク、年末大宮市場巡り、忘年会・新年会等の食事会レク、アルバイトの送別会等を行った。また年2回の避難訓練を実施した。平成29年度から新たなコミュニケーションの場所として、お茶楽と健康料理サポートを始めた。

【人づくり事業】

- 実習生受け入れ 8人/年
- 依頼大学数 5大学/年
- 研究（研究論文等）受け入れ 2人/年

社会福祉士(国家資格)の実習養成施設として社会福祉士を目指す学生の実習生受け入れを行った。職場において、社会福祉士実習者講習会を修了した職員を2人配置した。

○講演啓発・講師派遣・論文等寄稿の主な実績

- ・東洋大学 ライフデザイン学部 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ 講師
- ・聖学院大学「社会福祉士、精神保健福祉士ってなあに？」 講師
- ・東京都北区社会福祉士会「埼玉の実践をとおして語る ホームレス支援～社会的排除を克服するために～」 講師
- ・法務省 矯正研修 任用研修課程高等科第49回研修 社会福祉と矯正 講師
- ・ボランティア大学フォローアップINうらら岩槻 登壇
- ・更生保護施設会報清心寮第25号「NPO法人ほっとポットの緊急一時シェルター支援～貧困問題に向き合う更生保護と社会福祉の連携～」 寄稿
- ・生活保護受給者の宿泊施設及び生活支援のあり方に関する意見交換会 参加
- ・上智社会福祉専門学校精神保健福祉士通信課程卒業生・在学生対象の学習会（Wa-sophia） 講師 他

○当法人への視察者等（順不同）

- ・厚生労働省社会、援護局保護課、地域福祉課、総務課職員の皆様
- ・司法福祉研究会の皆様
- ・公益社団法人東京社会福祉士会 低所得者支援委員会の皆様
- ・立正大学 教授 保正友子様、共同研究者及びゼミ生の皆様
- ・埼玉県社会福祉士課職員及びインターンシップ中学生
- ・さいたま保護観察所の皆様
- ・横浜社会福祉研究会の皆様



- ・医療生協さいたま生活協同組合 埼玉協同病院看護師の皆様
- ・埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科学生の皆様
- ・公益社団法人埼玉県社会福祉士会 生活困窮者支援委員会メンバーの皆様
- ・中京大学現代社会学部 教授 辻井正次とヒアリング調査チームの皆様
- ・立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科 芝田英昭先生ゼミの皆様
- ・横浜市の社会福祉法人勤務の串田様
- ・開智高等学校学生様 他



○ボランティア受け入れ 23名/年

主に食事会（ほっとサロン）の当日スタッフやハガキ部の活動補助としてボランティアを受け入れている。調理や、気軽なお話し相手として一地域の皆様や学生等を受け入れた。

○法人内研修

- ・法人の理念やビジョン確認ワークショップ
- ・認定NPO法人夢舞台「自立援助ホームについて」
- ・埼玉県地域生活生着支援センター研修



○法人外部研修等

- ・社会福祉士基礎研修Ⅱ
- ・防火管理者甲種講習
- ・アルコール関連問題連絡会
- ・新規採用福祉職員スタートアップ研修
- ・顔の見えるネットワーク会議
- ・障害者福祉初任者研修
- ・中堅職員キャリアパス研修
- ・虐待防止研修 等



【ほっとサロン事業】

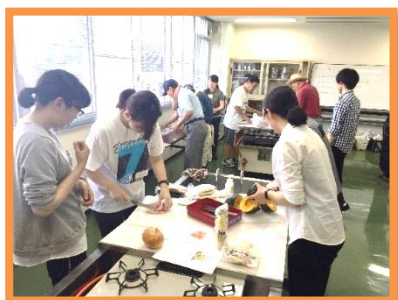
○参加者数 265名/年

単身生活をされている方の居場所づくりや交流の機会の確保を目的に、月に一度食事会を開催している。主に当法人の支援を利用したことのある方等を対象としているが、学生や他団体からボランティアを募り、ほっとポットの活動を知る入口としても機能。

食事会では栄養バランスや季節に応じた献立メニューを職員が提案し、参加者と一緒に調理をすることで、生活訓練の機会を提供。また、気軽に日ごろの相談事を寄せられる場ともなっている。

○ほっとサロンメニュー

- 4月 炊き込みご飯・ポトフ・厚揚げ豚肉まき・わらび餅
- 5月 わかめご飯・メンチカツ・マリネを添えて・高野豆腐のさくさく揚げ・具たくさん味噌汁・蒸しパン
- 6月 ゆかりご飯・水餃子・おからナゲット・中華風スープ・野菜の煮びたし・かぼちゃサラダ・水無月
- 7月 流しそうめん・冷や汁・かぼちゃのスペインオムレツ風
- 8月 手打ちうどん・野菜かき揚げ・鶏ささみの味噌風味・夏野菜の塩昆布和え・わらびもち
- 9月 手作りふりかけごはん・豆腐と鶏ミンチの巾着・ナスとズッキーニの揚げ浸し・かぼちゃのポタージュ・お月見団子
- 10月 さつまいもご飯・ポトフ風ロールキャベツ・小松菜としめじのナムル・プリン
- 11月 まいたけの炊き込みご飯・あじのつみれ汁・野菜の豚肉巻き・はんぺんと豆腐のコロコロボール・スイートポテト
- 12月 ピラフ・チキンボール・トマトスープ・じゃがオムレツ・デコレーションケーキ
- 1月 ちらし寿司(黒米入り)・春巻き・くるくるちくわ巻き・つぼっこ汁・芋ようかん
- 2月 ひき肉ごぼうご飯・鯖缶ハンバーグ・水菜と大根のシーチキン・サラダ・しじみ汁・三色団子
- 3月 おにぎり・からあげ・つくね・ポテトサラダ・ほうれん草入り卵焼き



【成年後見事業】

○受任件数 6件/年(新規受任3件、受任終了1件、継続2件)

| 種別 | 新規受任 | 受任終了 | 継続件数 | 内訳 | |
|------|-------|------|------|----|----------------------------|
| 法定後見 | 成年後見人 | 2件 | 1件 | 0件 | 80代 女性 70代 男性 60代 女性 |
| | 保佐人 | 1件 | 0件 | 1件 | 70代 男性 70代 男性 |
| | 補助人 | 0件 | 0件 | 1件 | 70代 男性 |

【地域生活見守り事業】

○支援契約件数 1人/年

地域の一般アパートにて生活している方から福祉的な相談に応じる事業。アパートのオーナーからの相談にも応じ、既に入居契約している方についても福祉的な関わりが必要と認められる場合、関係機関への連絡調整等の支援を行う。

契約はアパートを所有するオーナーと取り交わし、毎月入居者数に応じて支援料を受領している。

【就労支援事業】

主に就労をする前段階の体力づくり、就労のきっかけづくりを目標にしている。

○農園部

活動場所 事務所の庭 活動日 適宜

活動内容 今年度はゴーヤのみ育て、ゴーヤチャンプルーを作る事ができた。

○ハガキ部

活動場所 事務所談話室

活動日 月1回（雨天中止1回）

参加者 59名/年（利用者41名、実習生・ボランティア7名）

活動内容 会員の皆様への御礼等や、入居者の誕生日カードに使用するハガキを作成した。近隣住民等からの寄付を募った。活動日以外でも参加者から希望があれば、牛乳パックを細かく切る作業等を事務所内で随時活動してもらった。



○登山部

活動場所 平成 29 年度 大平山～鎌倉～

活動日 1 回/年

参加者 利用者 6 名、ボランティア・職員 5 名 計 11 名

活動内容 登山の機会を通じ、体力の向上や計画的に金銭を貯める等の目的達成への練習をするために、平成 27 年度に発足した。

海を見る機会が少ないこと、職員の地元のため案内ができるという利点から鎌倉を選択した。当日は、山と海、鎌倉散策、温泉と充実した 1 日を過ごすことができた。



2 その他報告事項

【会員数】

○正会員 168人

○賛助会員 68人

※平成30年3月31日時点